



弥生の戦士と青銅器

青銅器

田熊2丁目で見えられた田熊石畑遺跡出土品がこのたび、国の重要文化財に指定されました。指定品は、弥生時代中期前半ごろ（約2200年前）の銅剣などの武器形青銅器（ふきがたせいでうき）、ヒスイ製の勾玉（まがたま）などの石製品、ガラス小玉などです。市では、発見から6年近くかけて出土品の詳しい調査を進めた結果、国の成り立ちを考える上で、きわめて貴重な考古資料だということが認められました。

■問い合わせ先
郷土文化交流課 ☎(62)26000



ここがすごい 田熊石畑遺跡

この重要文化財を出土した田熊石畑遺跡は、平成20年に発掘調査を実施し、弥生時代中期の「ムラ」と有力者の墓域（区画墓・くかくぼ）が見つかった遺跡で



区画墓全景

す。区画墓内の6基の木棺墓を調査した結果、15点の武器形青銅器が出土し、1つの墓域から出土した武器形青銅器の数としては日本最多ということが分かりました。弥生時代の宗像地域に、沖ノ島祭祀（さいし）／4世紀後半）が始まるずっと前から、北部九州屈指の有力者集団が存在し、弥生文化が日本各地に広まる上で重要な役割



区画墓出土の武器形青銅器

弥生人のあこがれ 武器形青銅器

さて、弥生人にとって武器形青銅器はどのような価値を持っているのでしょうか。弥生時代が始まってしばらくすると、武器形青銅器は中国大陸や朝鮮半島から北部九州の主要な地域に伝えられます。しかし、「ムラ」や「クニ」の有力者ら、ごく一部の人手しか手に入ることができず、ムラ人には縁のない品でした。有力者たちは、黄金色に輝く宝器として長く大切に、自分の墓に入れることを望

んだのです。この武器形青銅器は、土や石製の鋳型（いがた）に高温で溶けた青銅を流し込む「鋳造（ちゅうぞう）」という当時の最先端技術で作られています。青銅とは、銅とスズの合金で、純粋な銅をしっかりと溶かすには約1200度という高温が必要ですが、スズを加えることで溶ける温度を下げ、し

か、弥生時代が始まってしばらくすると、武器形青銅器は中国大陸や朝鮮半島から北部九州の主要な地域に伝えられます。しかし、「ムラ」や「クニ」の有力者ら、ごく一部の人手しか手に入ることができず、ムラ人には縁のない品でした。有力者たちは、黄金色に輝く宝器として長く大切に、自分の墓に入れることを望

最後に、田熊石畑遺跡の区画墓に眠っているのはどのような人々だったのかを考えてみましょう。副葬品に武器を多数持ち、現在のところ女性の墓がまったく含まれないことに注目する

弥生時代を生きる

と、稲作や交易を指導する「ムラ」のリーダーであると同時に、いざとなれば、戦いを指揮する戦士集団の歴代トップとみることができそうです。土地や富への争いが頻発した弥生時代を生き抜くには、オールマイティなリーダーが必要とされていたのでしょうか。

（文化財職員・白木英敏）

弥生人のあこがれ 武器形青銅器

さて、弥生人にとって武器形青銅器はどのような価値を持っているのでしょうか。弥生時代が始まってしばらくすると、武器形青銅器は中国大陸や朝鮮半島から北部九州の主要な地域に伝えられます。しかし、「ムラ」や「クニ」の有力者ら、ごく一部の人手しか手に入ることができず、ムラ人には縁のない品でした。有力者たちは、黄金色に輝く宝器として長く大切に、自分の墓に入れることを望

ラッピングしたバスを楽しんだ吉住さん親子



日（41歳・福岡市）、明翔（あきと）くん（3歳）親子は「宗像の魅力が1台のバスに凝縮して描かれていますね。乗り心地がよいので、親子で乗ると楽しかったです。バスにラッピングしたバスを楽しんだ吉住さん親子

が神宝館に所蔵されていることを初めて知りました。展示品を分かりやすく解説してもらい、宗像の歴史の深さがよく分かりました」と、それぞれ感想を笑顔で話してくれました。

■問い合わせ先
世界遺産登録推進室 ☎(62)2617

市では、トヨタ自動車九州と協定を結び、さまざまな連携事業を実施しています。その一環として、トヨタ自動車九州が自動車の塗装技術を生かし、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」をテーマに市所有バスへラッピング。今年3月、完成しました。

作業は、写真を見ながら大きなフィルムにスプレーガンで描きます。側面には沖ノ島とみあれ祭、後方には沖ノ島で出土した金銅製龍頭と三角縁神獣鏡を描きました。

同日、宗像歴史観光ボランティアの会による宗像大社の無料ガイドツアーも開催。ツアーに参加した安部司さん（40歳・愛知県）は「父が宗像市出身で、宗像大社にも何度か来ていて、宗像の歴史もある程度知っているつもりでした。ガイドさんはネタが豊富ですね。楽しく宗像を深く知ることができよかったです」。

同日、宗像歴史観光ボランティアの会による宗像大社の無料ガイドツアーも開催。ツアーに参加した安部司さん（40歳・愛知県）は「父が宗像市出身で、宗像大社にも何度か来ていて、宗像の歴史もある程度知っているつもりでした。ガイドさんはネタが豊富ですね。楽しく宗像を深く知ることができよかったです」。

ガイドの話熱心に聞く参加者（宗像大社・神宝館）

関連遺産群
宗像・沖ノ島と
ふるさとから
世界遺産を！
第65回

ラッピングバスとボランティア ガイドで宗像の歴史を紹介

医王院 宗像聖地霊園

宗像市認可霊園
宗像大社高宮祭場横

当霊園は宗旨、宗派を一切問いません。
自然に囲まれた閑静なやすらぎの聖地です。

●名称: 医王院霊園(宗像聖地霊園) ●所在地: 福岡県宗像市田島2211番地 ●区画面積: 3.3㎡、2.35㎡、1.8㎡ ●交通: 西鉄・宗像大社前バス徒歩10分 ●経営許可番号: 18環第86号

お申し込み
お問い合わせは ☎0940-62-1566

墓地代
(永代使用料)
1区画

144,000円
188,000円
264,000円